東京都､コロナ医療体制の警戒レベル最高に 3カ月半ぶり

#東京 #新型コロナ #関東

2022/12/22 19:01

東京都は新型コロナウイルスに対応する医療提供体制の警戒度を約3カ月半ぶりに最高に引き上げた

東京都は22日、新型コロナウイルスに対応する医療提供体制の警戒度を、4段階で最も高い「赤（逼迫している）」に引き上げた。医療提供体制の警戒度が最高レベルとなるのはおよそ3カ月半ぶり。

入院患者数が高い水準で推移し、重症者数が大きく増加したことに加え、コロナやインフルエンザへの感染などで就業制限を受ける医療従事者らが多数発生。コロナ以外の一般救急患者も増加しており、医療提供体制が逼迫し始めていると分析した。

感染状況の警戒度は上から2番目で据え置いた。都によると、オミクロン型の亜系統への置き換わりが進んでおり、新規感染者が急激に増加することに警戒が必要という。

小池百合子知事は22日、記者団の取材に応じ、「（インフルエンザとコロナが同時流行する）ツインデミックが懸念されていたが、これがまさに入り口に入った」と指摘。換気やワクチン接種などの感染対策を改めて呼びかけた。

東京都は新型コロナウイルスに対応する医療提供体制の警戒度を約3カ月半ぶりに最高に引き上げた

東京都は22日、新型コロナウイルスに対応する医療提供体制の警戒度を、4段階で最も高い「赤（逼迫している）」に引き上げた。医療提供体制の警戒度が最高レベルとなるのはおよそ3カ月半ぶり。

入院患者数が高い水準で推移し、重症者数が大きく増加したことに加え、コロナやインフルエンザへの感染などで就業制限を受ける医療従事者らが多数発生。コロナ以外の一般救急患者も増加しており、医療提供体制が逼迫し始めていると分析した。

感染状況の警戒度は上から2番目で据え置いた。都によると、オミクロン型の亜系統への置き換わりが進んでおり、新規感染者が急激に増加することに警戒が必要という。

小池百合子知事は22日、記者団の取材に応じ、「（インフルエンザとコロナが同時流行する）ツインデミックが懸念されていたが、これがまさに入り口に入った」と指摘。換気やワクチン接種などの感染対策を改めて呼びかけた。